

## CPC 課題レポート

2023 年 6 月 21 日（水） 第 1398 回 CPC

92 番 岡野雄士

### 課題

1. 剖検が必要と考えられた根拠となった、臨床的な問題点を箇条書きで記しなさい。

- 膵炎・膵管癒合不全の評価
- 周囲臓器の評価
- 膵炎が主たる死因か否かの精査

2. 病理解剖で認められた主要な所見を、箇条書きで記しなさい。

- Patau 症候群
  - － 口蓋裂外鼻形成術後
  - － 右余剰趾切除後
  - － 心房中隔欠損症・心室中隔欠損症・動脈管開存症に対し肺動脈絞扼術・動脈管閉鎖術後
  - － 膵内副脾（膵尾部・単発・ $1.2 \times 0.7$  cm）
  - － 膵脾癒合
  - － 腎小嚢胞（多発散在性・両側・最大径 4 mm 大）
- 慢性膵炎（瀰漫性・高度・壊死性・散在性）
  - － 分枝膵管内の拡張・多数の膵石
  - － 膵腺房間の間質に著明な線維化所見
  - － 膵内・膵周囲組織に多時相の壊死性膿瘍が混在・散見
  - － 膵頭部（Groove 領域～胃壁）の高度壊死巣あり
    - \* 膵内胆管壁まで至る
    - \* Vater 乳頭部近傍で総胆管を狭窄
  - － 副膵管の軽度拡張・内部に血腫形成
  - － 二次性胆管炎・閉塞性黄疸
  - － 黄疸腎（両側）
  - － 腹水貯留（800 mL・淡褐色）
  - － 胆管上皮乳頭状増生（肝門部～肝内胆管）
- 肝鬱血・線維化
  - － 中心静脈域を主体とした類洞拡張・線維化
- 脂肪肝
  - － 約 90%の大～小滴性脂肪化

- 敗血症治療後 (*Enterococcus faecalis*・*Pseudomonas aeruginosa* 陽性)
- 慢性腹膜炎 (軽度・一部石灰化伴う)
- 静脈内器質化血栓 (右総腸骨静脈・2.0 cm 長・最大狭窄率 90%)
  - － 血栓中に明らかな病原微生物を認めず
- 回腸真性憩室 (単発・1.0 cm 大・回盲部から 12.0 cm・異所性組織なし)
- 仙骨部分褥瘡 (3.0 × 2.1 cm 大)

**3. 臨床的な問題点が病理解剖によりどのように解決したか、文章で説明しなさい。**

高度の慢性膵炎を認めた。また膵尾部の器質的異常を認めた。また周辺臓器の状態としては、閉塞性黄疸の随伴所見や肝鬱血・脂肪肝などが認められた。死因としては、膵炎ならびに閉塞性黄疸による全身状態の悪化が複合的に原因となっていると考えられる。

**4. 本症例が死に至った病態について、自分が理解した内容を文章で説明しなさい。**

慢性膵炎とそれを起因とする閉塞性黄疸による全身状態の悪化によって死に至った。